

全国都市緑化仙台フェア 基本構想中間案に対するご意見と本市の考え方

NO	意見分類	意見概要	本市の考え方
1	基本理念、基本方針	「これまでの百年」でみどりを守り生み出してきた側面がある一方で、みどりが大きく損なわれてきた側面もあります。百年先を考えるためにこそ、ここまで百年の光と影双方に目を向けるという確かな意識が必要だと思うため、基本理念や1つ目の基本方針に記載することを提案します。	杜の都の歴史の中で、急速な都市化等によりみどりが失われたことについては、「『杜の都』のあゆみ」の中で触れていたところですが、「開催意義」の前文においても補足する形で追記いたします。 ご指摘の点につきましては、フェアにおいて実施するシンポジウムやワークショップの中で触れてまいります。
2	基本理念、基本方針	2つ目の基本理念は大人の社会・経済活動を意識しているように見えますが、コロナ禍を経た中で「みどりと親しみながら子育てができる」ということも人を呼び込む力があると思うので、子どもの育つ環境の視点も盛り込むことを提案します。	「みどりと親しみながら子育てができる」とのご意見は非常に重要な観点だと考えており、この点については広く「ライフスタイル」に包含されるものと認識しております。 ご意見の点につきましては、フェアにおいて実施するシンポジウムやワークショップの中で触れてまいります。
3	基本理念、基本方針	3つ目の基本方針に「環境教育」という言葉がありますが、市民に主体性がある「環境学習」という表現にするか、併記が良いと考えます。	「環境教育」という表現につきましては、「環境学習」と修正いたします。
4	開催期間	バラの咲く5月中旬から6月上旬くらいに開催してほしいです。	開催期間につきましては、基本計画にて決定しますので、貴重なご意見として参考にいたします。
5	入場料	入場料は無料を基本としていますが、入場料を払っても見たいと思える場となることを期待します。	緑化フェアは、花やみどりの素晴らしさを広く共有しつつ、市民や事業者の協力をいただきながら都市緑化を推進することを目的に開催するイベントでありますことから、入場料は無料を基本としたところです。 一方で、すでに花やみどりへの活動をされている方々にもご満足いただけるような、提案型のテーマ庭園等も必要だと考えており、一部有料エリアの設定などについて、基本計画以降で検討してまいります。
6	入場料	東日本大震災を経験し、現在のコロナ禍により影響を受けた地元の中小企業、特に園芸関係や造園関係など花と緑に関連する業種や観光関係の業種は緑化フェアへの期待が大きいと思います。 入場料は無料を基本としていますが、魅力が伝わるクオリティの高い展示が人を呼び、お金を出しても見に行きたいというものになるように、メイン会場の青葉山公園追廻区地区のみでも構わないので有料化を提案します。	同上

NO	意見分類	意見概要	本市の考え方
7	会場整備、展示、出展、行催事	<p>以下のとおり既存の資源を活用することを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■青葉山公園追廻地区 中島池の復活 ■西公園南側地区 心字池に水を入れるプロジェクト ■広瀬川 広瀬川遊歩道づくり ■まちなかエリア 四ツ谷用水跡の標示 ■東部エリア 貞山堀の舟運 	<p>広瀬川につきましては、公園から河川敷へと降りられるアプローチ、散策路や広場の整備、川に親しみながらの様々なイベントの実施などについて検討してまいります。</p> <p>中島池の再生につきましては、青葉山公園整備計画において位置付けており、計画にもとづいて整備を進めてまいります。</p> <p>その他のご提案につきましては、今後、施策を検討する上で参考にいたします。</p>
8	会場整備、展示、出展、行催事	<p>基本方針を実現するためには、緑に関心が高い人を呼び寄せるだけでなく、普段緑にあまり関心がない人や、子どもと家族連れもターゲットとして捉え、来場したくなるようなコンテンツと、楽しみながら緑への関心が高まるための仕掛けが必要です。その具体策として、以下のようなコンテンツ・仕掛けを用意することを提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■青葉山公園追廻地区 <ul style="list-style-type: none"> ・馬に関する体験プログラム ■西公園南側地区 <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート堤防を自然堤防への作り変え ・大橋（および周辺の植栽）のライトアップやプロジェクションマッピング ・パークハウスやキッチンカーなどによるオープンカフェ・野外飲食エリアの充実 ■広瀬川 <ul style="list-style-type: none"> ・沈下橋の設置 ・川床の設置 ・サウナの設置 ■エリア全体 <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストとのコラボレーション企画の実施 ・緑に囲まれた空間におけるミュージックイベント、配信技術を用いた音響環境づくり ・市民農園ゾーンの設置 ・ハーブ園、観葉植物ゾーンの設置（「みどりの初心者」対象） ・水耕栽培展示・調理ブースの設置 ・周遊コンテンツの実施（自転車や水上アクティビティ、自動運転モビリティ等） 	<p>緑化フェアでは、子どもや普段は園芸等になじみのない方も広くご来場いただきたいと考えており、ご提案のような楽しみながらみどりへの関心を高められるコンテンツにつきましても基本計画以降で検討してまいります。</p> <p>広瀬川につきましては、公園から河川敷へと降りられるアプローチ、散策路や広場の整備、川に親しみながらの様々なイベントのNPOとの協働による実施などについて検討してまいります。</p> <p>なお、広瀬川に設置する構造物などについては、河川管理者である宮城県との協議が必要であることから、今後検討してまいります。</p>

NO	意見分類	意見概要	本市の考え方
9	会場整備、展示、出展、行催事	<p>会場計画や事業計画について、以下の内容を提案します。</p> <p>■青葉山公園追廻地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボル展示ゾーンと出展ゾーンのスペースの拡大（広場ゾーンの縮小） ・開催期間中、公園センター周辺の緑地や日本庭園の作庭状況を公開 ・広場ゾーンの利用想定について ・高い場所から大花壇、広瀬川、青葉山を眺めることができるよう高所作業車を配置 ・造園・園芸団体による庭園、花壇製作のコンテスト（庭園のプランを一般募集して会場で実現） ・ハンギングバスケットなどをゾーンを囲むように設置 <p>■西公園南側・広瀬川エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の間伐材を利用した、広瀬川と会場のいずれも見られるベンチ（背もたれの無いベンチ）の設置 ・広瀬川でワンド（湾処）をつくり、子ども遊び場や水辺の生き物等の観察場所を設置 ・大径木を利用したツリーライティング <p>■まちなかエリア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケヤキを上部から見学できるよう定禅寺通に高所作業車を設置 ・花苗や各種グッズが当たるスタンプラリーやクイズ ・西公園や定禅寺通でミニジャズフェス ・仙台・青葉まつりとの連携 	<p>緑化フェアでは花壇や庭園を展示するだけでなく、ご提案のように、体感型の演出を入れながら楽しんでいただくことや、自然の中での遊びといった観点も非常に重要なものと考えております。</p> <p>各会場の詳細なゾーニングや具体的な展示イメージ、プログラム等は、いただいたご意見も参考にしながら、基本計画以降で検討してまいります。</p>
10	会場整備、展示、出展、行催事	<p>青葉山公園地区の公園センター建設にあたっては、歴史的背景とフェアの理念を体現すべく、仙台市有林の材を活用するなど木造や木質化の導入を先導的に推進することを願います。</p>	<p>緑化フェア開催までの供用開始に向け建設を進めている（仮称）公園センターでは、構造壁へのCLT（ひき板を繊維方向が直交するように積層接着したパネル）の採用など、木質化を推進するため先進的な技術を取り入れた設計としております。</p>

NO	意見分類	意見概要	本市の考え方
11	会場整備、展示、出展、行催事	<p>追廻地区において下記のエリア別ゾーニングを提案します。</p> <p>■基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しいみどりと花を提案、発信する場 2. 新しいみどりと花を体験、感動し、みどりの大切さを実感する場 3. 持続可能なみどりを育むスタイルを見てもらう研修の場 4. 訪れる人々と市民とのコミュニケーションの場 <p>■ゾーニング</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伊達の原風景・生物多様性の杜：イグネのある生活、自然と生きる暮らしのみどりを体験する杜のエリア 2. 日本庭園：宮城の庭師が作り上げた“伊達な庭”を通して政宗の思いを現代に伝えるエリア 3. 花と暮らすガーデン：育て方のワークショップ、ボランティアと市民の交流の場 4. ガーデニングエリア&出展者：団体や協賛企業がガーデンの提案をできるスペース 5. 風の大型テント：市民やNPOによる活動発表の場、イベントスペース、飲食スペース 6. 屋外協賛出展者：西公園植木市のエリア、宮城県造園建設業協会会員の庭の展示スペース 7. 花のステージと奏の広場：盛り土と芝生によりつくられたイベントスペース 8. 市民大花壇：多くの市民が参加できる大型花壇のスペース 	<p>新しい花とみどりの提案・発信、感動・体験、みどりを育む、市民のコミュニケーションの場など、それぞれ緑化フェアの中で、重要な要素であると認識しております。</p> <p>各会場の詳細なゾーニングや具体的な展示イメージ、プログラム等は、いただいたご意見も参考にしながら、基本計画以降で検討してまいります。</p>
12	会場整備、展示、出展、行催事	<p>伊達文化として今回の緑化フェアの開催趣旨にもつながる花を生かし、東北仙台の伊達ブランドの仕組みを考え、伊達の歴史が仙台市民により根付くようなイベントにしていくべきと考えています。</p>	<p>メイン会場である青葉山公園追廻地区は、仙台城跡に隣接し、伊達政宗公にも縁が深い歴史性のある場所と認識しており、藩政時代の歴史や文化にも触れられるイベントとなるよう検討してまいります。</p>
13	会場整備、展示、出展、行催事	<p>会場は新たに整備されたところが多いですが、地域住民と森林ボランティアと一緒に遊歩道を整備している八木山の金剛沢緑地も紹介してほしいです。</p>	<p>地域で進められているみどりの活動についてのご紹介につきましては、本市のみどりに関する施策の中で検討してまいります。</p>
14	会場整備、展示、出展、行催事	<p>バラの展示をしてその魅力を感じてもらいたいです。また、土づくり、剪定方法、施肥などバラの育成技術についてアドバイスをしたいです。</p>	<p>緑化フェアでは、花やみどりの活動をされている市民団体の皆様が、園芸講座等を実施できる場の提供について検討してまいります。</p>

NO	意見分類	意見概要	本市の考え方
15	会場整備、展示、出展、行催事	<p>仙台の歴史を語る追廻地区において、奈良時代から日本人の生活とともにあったバラを来場者に楽しんでもらい、癒しの交流ができればと思います。テーマごとのバラの展示や、バラと関連する展示物との一体的なゾーンを複数のテーマから作りたいです。メイン会場のみでの展示でも、各会場に分散させての展示でもいいと考えています。</p>	<p>バラゾーンなど具体的な花壇や庭園等につきましては、基本計画以降での検討の参考にいたします。</p>
16	市民協働	<p>子どもの頃から緑に関わり、樹木や草花の価値を身に付けることが大事だと考えています。</p> <p>緑化フェアでは、市内の緑地や公園、小学校等において、地域住民や小学生が参加しながら、メタセコイアを今後 2 年間で 100 本植栽することを提案します。</p> <p>また、次の 2～3 年でも同様の活動を行い、併せて香川県高松市と姉妹都市協定を締結することも提案します。</p>	<p>緑化フェアでは、地域の方々や小学生にも参加いただきながら、花壇の植え付けや植樹などを実施したいと考えております。</p> <p>植樹の場所や樹種の選定については、基本計画以降に検討してまいります。</p>
17	市民協働	<p>市民活動として参加したいと考えています。資金的余裕はありませんが、資材と場所と機会を与えてもらえれば、できる限りの協力をしたいと思います。</p>	<p>市民や企業による会場への庭園や花壇の設置などにつきましては、基本計画以降に検討してまいります。</p>
18	市民協働	<p>緑化フェアの開催前、開催中、開催後において、主催者と団体や市民との協働作業を行いコミュニティが形成されることにより、緑化フェアを契機により良いまちづくりと一緒に考えていくことができるようになると思います。</p>	<p>緑化フェアは、多くの市民や事業者の参画により実施することで、開催後の新たなみどりの活動にもつながるものと考えており、様々な主体が参画しやすいメニューや仕組みづくりを検討してまいります。</p>
19	交通輸送	<p>メイン会場とサブ会場との間をスムーズに移動できるようにするため緑化フェア専用ルートの設定を提案します。</p>	<p>本市の玄関口である仙台駅からメイン会場までの移動は、公共交通機関の利用を基本と考えておりますが、まちなかの周遊やその他の会場への移動等につきましては、基本計画以降に検討してまいります。</p>